

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------|--|--------------|
| ○事業所名 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | R8年 1月 20日 | | ～ R8年 2月 20日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | | (回答者数) |
| ○従業者評価実施期間 | R8年 1月 20日 | | ～ R8年 2月 20日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | | (回答者数) |
| ○訪問先施設評価実施期間 | R8年 1月 20日 | | ～ R8年 2月 20日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象者数) | | (回答者数) |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年 3月 20日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 子ども一人ひとりの個性、特性を理解した上で、明るく楽しい療育提供を行っている | 楽しい雰囲気の中で、遊びや制作、運動を通して、必要な『個別支援』と『集団療育』のバランスを意識してプログラム提供を行っている | 職員研修を通じて、スキルアップを図り、療育提供の質を高め、幅を広げる努力を行う |
| 2 | 保護者の方に対してオープンな事業所を意識している | 長期休業期間を除き、毎月開催している「オハイアリーの宴(参観日)」に保護者の方に積極的にご参加いただき、子育て支援サポートに力を入れている | 開催曜日を毎月変更し、より多くの保護者の方にご参加いただけるよう工夫を取り入れた |
| 3 | 専門支援を行う上で、経験豊富な正社員スタッフの充実 | 様々なスキルを有する人材の採用により、年齢等に捕らわれない幅の広い職員を配置 ベテラン保育士、特別支援学校教諭、理学療法士、経験豊富な児童指導員 | パートタイム職員の幅も広げて、より広い人材確保に努める |

| | 事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 保育所等訪問支援事業へ関わる時間配分と人材確保 | 訪問先への職員同行人員を増やしたいが、事業所内の療育提供を優先するためなかなか派遣できない | 児童数と職員配置のバランスを見つつ、タイミングを合わせて、保育所等訪問支援事業への参画職員を長期的に増やしていく計画を進める |
| 2 | 話し合いのタイミングの時間の確保 | 日々の療育活動と指導内容レポート作業等で、時間に追われてしまい、案件ごとに必要なディープなディスカッションがタイミングよくすることがなかなか取れない | 年2回の教育研修と日々のディスカッション共有事項を分け、優先順位を付けて時間を取ってディスカッションができるよう工夫を図る。また、朝夕の打ち合わせ時にも効率的に話し合いを行う。 |
| 3 | | | |

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 オハイアライ

公表日 R8年 4月 1日

利用児童数 9人/クラス 回収数 4

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|--|----|---------------|-----|---|--|------------|
| 環境・ 体制整備 | 1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。 | 6 | | | 2 | 整えられている いつも準備して訪問支援していただいている と思います | |
| | 2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。 | 8 | | | | 面談をする個室がある 他のお子さまにも配慮していただき、フィード バックにも配慮していただいていると思 います | |
| | 3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。 | 8 | | | | はじめに説明を頂きたい 入所の際に説明していただきました | |
| | 4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。 | 8 | | | | 説明していただき、訪問に行く日を教えてく れている 学校側は頻度を少なく希望していたため、増 やしてもらえよう、相談に乗って頂きまし た。 | |
| 適切 な支 援の 提 供 | 5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思 いますか。 | 8 | | | | 子どもの状態に応じた職員体制であると思 う。目が行き届いている 他のお子さまに配慮して先生一人で訪問して いただいております | |
| | 6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。 | 8 | | | | 専門性のある先生がいて特性に応じて対応し てくれている 資格や経験のある先生が支援してくださって います | |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されている と思いますか。 | 8 | | | | 子どものことをよく見てくれていて今後どう していったらいいかを考えて作成してくれて いる | |
| | 8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向 が盛り込まれていると思いますか。 | 8 | | | | 担任の先生とお話をしてくれているので盛り 込まれていると思います 訪問先の先生やお子様は無理のないように配 慮して計画して下さっています | |
| | 9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等 訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が 設定されていると思いますか。 | 8 | | | | 設定されていると思う いつも丁寧に支援計画を考えて頂いておりま す | |
| | 10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 8 | | | | 行われていると思う | |
| | 11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われてい ると思いますか。 | 7 | 1 | | | 保育所に通っているため、ここが他のお友だち との活動の場になっています 行われていると思う 交流先（訪問先）の先生や他のお子さまにい つも配慮していただいております | |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明があ りましたか。 | 8 | | | | 丁寧な説明がありました 入所する際に説明をいただきました | |
| | 13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされました か。 | 8 | | | | 説明されました 入所する際に説明をいただきました | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニン グ等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていま すか。 | 6 | | 1 | 1 | 参観会や連絡帳で相談等に乗って頂いており ます | |
| | 15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状 況、課題について共通理解ができていると思いますか。 | 7 | | | 1 | 送迎時や連絡帳で共通理解ができている 参観会や連絡帳で相談等に乗って頂いており ます | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 8 | | | | 定期的に面談している 参観会や連絡帳で相談等に乗って頂いており ます | |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 7 | | | 1 | されていると思う いつも子供や親に寄り添って支援をして頂い ております | |
| 18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されている とともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。 | 7 | | | 1 | されていると思う 相談会などもすぐに予定を組んで下さり、と ても助かっています | | |

| | | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|--|---|--|
| | 19 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 8 | | | されていると思う 学校側や子供との間に時には入っていただき、配慮していただいております | |
| | 20 | 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。 | 8 | | | 助言と支援が行われていると思う 洗琉球（訪問先）で他の子にも配慮して支援していただいております。 | |
| | 21 | 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。 | 8 | | | 話したことを面談時に伝えてくれる 毎回フィードバックをして頂いております | |
| | 22 | 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。 | 8 | | | 話したことを面談時に伝えてくれる 連絡帳や送迎時、また担当者会議などで共有させていただいております | |
| 非常時等の対応 | 23 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 8 | | | 連絡アプリ、連絡帳で情報を教えてくれる ホームページや連絡アプリでいつも発信されています | |
| | 24 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 8 | | | 写真は他の子が写っていたら顔を隠している SNSも顔が分からないようにしてくれている 訪問時など他のお子さまなどに十分留意していただいております | |
| | 25 | 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。 | 7 | 1 | | 熱がある時など連携してくれている 緊急時の対応について学校の先生と話しているかは把握していません | |
| 満足度 | 26 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 8 | | | 思います 入所の際に説明していただき、訓練も定期体に行っている様です | |
| | 27 | 子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。 | 8 | | | 子どもが楽しくお友だちと関わりを持てるような「転がしドッチ」「ポッチャ」「マンカラ」「ババ抜き」などをしてくれたり、収穫した野菜をみんなで食べたり、公園公民館などに連れて行ってくれたり、楽しめる工夫をしているのでとても満足しています。 いつも先生が訪問して下さるのを楽しみにしています | |
| | 28 | 事業所の支援に満足していますか。 | 8 | | | 学校側は来年度どのくらいの頻度で受け入れてくれるか不安ですが、事業所さんはいつもこちらの意見に寄り添ってくださいます | |

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

R8年 4月 1日

オハイアライ

利用児童数

9人/クラス

回収数 4

(訪問先施設の皆さまへ)

○ 本評価表は、保育所等訪問支援事業所を受け入れている訪問先施設の方に、保育所等訪問支援事業所の評価をしていただくものです。

(詳細につきましては、別紙「保育所等訪問支援における評価制度（自己評価・保護者評価・訪問先施設評価）の導入について」をご参照ください。)

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | ご意見 |
|--|---|----|--|-----|---------------------------------|
| 1 | 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。 | 3 | 1 | | |
| 2 | 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。 | 2 | 2 | | 今後の課題などについて教えていただけると園での参考になります。 |
| 3 | 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。 | 4 | | | |
| 4 | 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。 | 3 | 1 | | 児童の様子を共有する中で対策・対応を考えることができた |
| 5 | 事業所からの支援に満足していますか。 | 3 | 1 | | |
| その他、お気付きの点をご記入ください。 | | | ご意見を踏まえた対応 | | |
| <p>お子さんの成長を共に支え見守ることは今後も変わりはないのですが、それぞれの立場・役割は微妙な違いがあると考えます。よってこちらからの良し悪しの評価は難しい面があります。一年間ありがとうございました。</p> <p>フィードバックで話した園での取り組み・活動をオハイさんの方でも取り入れてもらったことで子ども自身が安心して園での集団活動へ参加するきっかけとなっています。送迎時に療育での様子を具体的に知らせてくれるので保育に活かす良い機会となり助かっています。</p> | | | <p>今年度につきましては、昨年度に訪問支援を保留されていた学校も前向きに検討していただき、実施することができました。保護者の方の願いや保育所等訪問支援事業の意図や意義をご理解いただき、円滑にすすめていくことができ感謝しております。</p> <p>園や学校での生活を楽しく健やか送れるように、今後も情報共有を密に行っていきます。</p> | | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | オハイアライ | | 公表日 | | | R8年 4月 1日 |
|----------------------------------|--|---|----|-----|-------------------------------|--|-----------|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など | 課題や改善すべき点 | |
| 環境 体制・ 整備 運営 | 1 | 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。 | 1 | | | 保護者へ教材資料提供を行う機会はほぼない | |
| | 2 | 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 2 | | | 責任のある立場や学校からの期待値を踏まえると 教員経験など学校事情に精通している者が訪問する 時は見発管に傾注してしまうのが現状 | |
| 業務 改善 | 3 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。 | 2 | | | | |
| | 4 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。 | 2 | | | 忙しい保護者との時間を作る機会が難しい場合も あるが、モニタリング等の際に別枠で時間を確保 している | |
| | 5 | 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。 | 2 | | | | |
| | 6 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。 | 1 | | | 保育所等訪問支援の外部評価を取る術がない | |
| | 7 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。 | 2 | | | | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 8 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。 | 2 | | | | |
| | 9 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 2 | | | | |
| | 10 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。 | 1 | | | | |
| | 11 | 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。 | 2 | | | | |
| | 12 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマ ルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。 | 1 | | | | |
| | 13 | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。 | 2 | | | | |
| | 14 | 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。 | 2 | | | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。 | 2 | | | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 2 | | | 毎朝の朝礼時に職員間で情報を共有しているが、 それで十分とは言えない | |
| | 17 | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。 | 2 | | | | |
| 18 | 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。 | 2 | | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|--|--|--|
| | 19 | 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 2 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 2 | | | |
| | 21 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 1 | | | |
| | 22 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 2 | | | |
| | 23 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | 2 | | | |
| | 24 | (自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | 1 | | | |
| | 25 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 2 | | | |
| | 26 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 1 | | | |
| 保護者等への説明等 | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 2 | | | |
| | 28 | 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。 | 2 | | | |
| | 29 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 2 | | | |
| | 30 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。 | 2 | | | |
| | 31 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。 | 2 | | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 2 | | | |
| | 33 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 2 | | | |
| | 34 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 2 | | | |
| | 35 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 2 | | | |
| | 36 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 2 | | | |
| 訪問先施設への | 37 | 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。 | 2 | | | |
| | 38 | 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。 | 2 | | | |
| | 39 | 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。 | 2 | | | |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|--|--|--|
| 説明等 | 40 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 2 | | | |
| | 41 | 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。 | 2 | | | |
| 非常時等の対応 | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 2 | | | |
| | 43 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 2 | | | |
| | 44 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 2 | | | |
| | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 2 | | | |
| | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 2 | | | |